

自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成23年5月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成23年5月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

◎調査店1店当たりの販売台数

本月の新車販売の合計は17.9台で、前年同月と比べると1.5台減の92.3%である。車種別では、シティ車81.8%、ホーム車94.4%、子供車84.2%、電動アシスト車93.3%と前年同月比を下回ったが、幼児車は横ばい、折りたたみ車120.0%、マウンテンバイク116.7%、スポーツ車107.7%で上回った。また前月比ではシティ車38.7%、ホーム車54.0%と春需の反動で前月を大幅に下回っている。

中古車も前年同月84.6%と下回っている。

◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、「3月4月の反動か売上げが大幅ダウン」(福島)、「先月、先々月の地震の影響で売上げがよかった分、今月は商圈の少ないわが町では悲惨な状況」(埼玉)、「ゴールデンウィーク明けも客足は悪く、予想していたとおり少しずつ不況にもどりつつある」(東京)、「期待外れの5月、例年と比較しても全体的に市場が冷えサイフのひもが固いよう」(大阪)など、コメントからも震災の影響や春需の反動で売り上げが大きく落ち込んでいることがうかがえる。

その一方で「電動アシスト車及び一般車がなかなか入荷しないのでユーザーさんに待っていただいている」(神奈川)、「春の遅い雪国でスポーツサイクルに乗ろうと思って来店してもメーカー、代理店では1ヵ月2ヵ月待ちと答え、そして完売、不思議な業界」(新潟)、「クロスバイクや入門用のロードの売れ行きがよく、メーカー在庫が欠品ぎみ。2012年newモデルが入荷するまで売るのがなくなるような気がして、考えないといけない」(岐阜)、「スポーツ車の入荷予定が大幅に遅れるケースが多くお客様への説明が大変、中には入荷自体がなくなることもある」(高知)のように、商機があっても商品が思うように入手できない状態である。

調査店1店当たりの販売台数(総合) [全国9地域 店舗:100]
(平成23年5月) [単位:台 構成比:%]

車種別	本月		前月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	3.6	17.9	9.3	27.0	38.7	4.4	20.0	81.8
ホーム車	6.7	33.3	12.4	35.9	54.0	7.1	32.3	94.4
折りたたみ車	0.6	3.0	0.9	2.6	66.7	0.5	2.3	120.0
子供車	1.6	8.0	2.9	8.4	55.2	1.9	8.6	84.2
幼児車	0.7	3.5	0.7	2.0	100.0	0.7	3.2	100.0
マウンテンバイク	0.7	3.5	0.7	2.0	100.0	0.6	2.7	116.7
スポーツ車	2.8	13.9	3.1	9.0	90.3	2.6	11.8	107.7
電動アシスト車	1.4	7.0	1.9	5.5	73.7	1.5	6.8	93.3
合計	17.9	89.1	32.0	92.8	55.9	19.4	88.2	92.3
中古車	2.2	10.9	2.5	7.2	88.0	2.6	11.8	84.6
総合計	20.1	100.0	34.5	100.0	58.3	22.0	100.0	91.4
モーターバイク	0.5	2.5	0.6	1.7	83.3	0.6	2.7	83.3

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。